

普及現地情報



発信年月日：令和6年（2024年）6月25日
所属名：高島農産普及課
番号：H24006
部門分類：150
発信者名：深澤

生分解性マルチを使用した環境負荷の少ない栽培体系への転換に向けて

～グリーンな栽培体系転換サポート事業計画検討会を開催～

昨年度から安曇川町泰山寺地区において当事業を活用した生分解性マルチ等の実証試験を行っています。今年度の計画検討会を5月28日（火）にJAレーク滋賀と共同で開催し、当日は生産者4名が参加されました。

高島市安曇川町の泰山寺地区は県内有数の黒ボク土が分布する地区であり、数軒の生産者が直売所や市場にダイコン等を出荷されています。近年、生産者が高齢化しており、作付け終了後のポリマルチの回収に要する手間や廃プラスチックの処理等が課題となっています。そこで、栽培後に回収作業の必要がなく、環境への負荷が少ない「生分解性マルチ」を試験的に導入することで、作業負担が少ない本地域に適した資材の検証を行っています。

昨年度は小面積で3種類の資材を比較試験し、作業性は慣行マルチと大きく変わらないことを確認しました。今年度は、ダイコン、スイートコーンにおいて試験面積を拡大し、作業性の検討やすき込み後の分解度調査、品質への影響などを調査する予定です。

今回の計画検討会では、進捗状況と今後の計画について改めて説明を行いました。生産者からは、「生分解性マルチは慣行のポリマルチと同等に展張でき、特に課題は感じていない。」との意見がありました。当課では、引き続き関係機関と連携し、実証試験を行うとともに、安定的な野菜生産に向けて支援していきます。



生分解性マルチを展張する生産者